



わがや



発行：柏市在宅医療・介護多職種連携協議会 啓発・広報部会 編集：柏市保健福祉部地域医療推進課 制作：白玉社 9月・3月年2回発行 発行部数：191,000部
PDF版のバックナンバーは、柏市公式ホームページから [わがや](#) [検索](#) 右上のQRコードからもダウンロードできます

うちの
パパが
「がん」に?!

家族の病気に向き合おう

働き盛りのパパやママ、元気いっぱいの子もたちも、ある日とつぜん大きな病気やケガで、長期間の治療や介護が必要になったり、命の期限と向き合わなければならないときが来るかもしれません。在宅医療は、高齢者だけではなく、様々な世代の人たちにとっても大切なテーマなのです。そして現在、日本人の死亡原因の1位は「がん」です。死亡した方の3.5人に1人は何らかの「がん」が原因となっています。今号と次号は、iさん家族と一緒に「がん」とどのように向き合うべきか考えてみます。不安やお悩みを解決するための情報やヒントをご紹介します！

まさか自分が「がん」に...

iさん家族は、ある日突然パパが『がん』という大きな病気で、あと半年しか生きられないということが分かります。パパもママも不安でいっぱいですが、家族みんなが病気に向き合い、支え合っていくことに決めました。

iさん (44歳) 男性

- 柏市内の金融機関に勤務
- 妻 (41歳・正社員)、息子 (小4) 娘 (5歳) の4人家族
- 体調不良が続き、診療を受けたところ、ステージ4の胃がんで余命半年と告げられる。

余命半年って...
これから何をすればいいんだ...
身辺整理や家族に残せるものは...?

突然のことにママや 子どもたちは...



私はどうしたら
いいの?

子どもたちには、
いつ、どうやって
伝えるべき??

どうしよう?!

不安だらけだ...。
一体何から考えれば
いいんだろう??

家族はどうなる??
治療や生活面で妻や子どもたちに
大きな負担がかかるかも。

仕事はどうなる??
やりかけの仕事もまだ
たくさんあるのに...

治療にはいくらかかるんだ。
生活費は...?

子どもたちの学費も
これからかかるんだ。

長い期間入院するのかな...
いっそ治らないなら
できるだけ家族と一緒に過ごしたい。

オレが死んだ後は...
葬儀や墓のこともあるよなあ...
残された家族のことは誰が守っ
てくれるんだ。

不安や疑問、必要なことを整理してみましょう。
ヒントや情報はウラ面へ!



落ち着いて
深呼吸

不安や悩みは

ひとつひとつ 解決しよう

あなたと家族の 心と身体を支えます ～緩和ケア～

がんによっておこる症状を和らげるだけではなく、本人と家族の精神的な苦痛を含めて、支えていくことを「緩和ケア」といいます。

緩和ケアと聞くと、末期のことと思いがちですが、診断されたときや病気の疑いがあるときから患者さんと家族を支えるケアです。患者さんを見守る医師や看護師をはじめ、関係する専門職みんなが関わります。

どこに相談したらいいの？

生活、仕事、家族への伝え方…大きな病気や余命の告知を受けたら誰でも不安でいっぱいになります。まずは、診断を受けた病院の医師、看護師、ソーシャルワーカーなどに何でも相談しましょう。不安な気持ち、辛い気持ち、あなたの本音を伝えましょう。患者さん本人と家族にとって、よりよい選択ができるように一緒に考えてくれる、頼れる存在です。

病院では話せないなどで困ったら、電話相談や専門職による面接相談もあります。詳しくはがんサポートブックをご覧ください。

不安な気持ちを相談したことで、4年生の息子には、落ち着いて状況を伝えることができました。



「病気でも自宅で家族と暮らしたい」 を叶えます

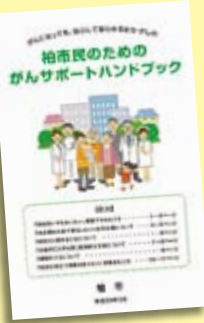
療養場所は「住み慣れた我が家」を選択できます。自宅に医師・看護師が訪問し、必要な医療処置を行ってくれます。また、介護保険制度を利用して介護用の電動ベッドや車椅子を借りたり所定のサービスを受けることができます。

※ 40歳以上の方なら「末期がん」を含む16の特定疾病が原因で介護が必要となった場合、介護保険制度が利用できます。

家で療養ができるように、妻と一緒に準備をしていきます。



頼りになる『柏市民のための 一冊！ がんサポートハンドブック』



がん患者さんやご家族の不安、お悩みに寄り添い、助けになれるよう、「柏市民のためのがんサポートハンドブック」があります。生活支援、経済的支援の情報はもちろん、専門家に相談ができる、がん診療連携拠点病院の紹介など、患者さんやご家族のケアについての情報を掲載しています。

冊子は市役所、保健所、市内医療機関（医師会所属）等で手に入ります。右のQRコード、または柏市のホームページからPDF版をダウンロードできます。

柏市公式ホームページから [がんサポート](#)



『がん医療フォーラム2017』が開催されます

開催日：10月29日（日） 会場：ザ・クレストホテル柏

市民の方を対象に、がん患者の在宅療養支援などについての市民フォーラムが開催されます。参加をご希望される方は、事前申込が必要になります。9月15日発行の「広報かしわ」にて応募方法をご確認ください。

次回、3月発行の「わがや」Vol.11では、iさん家族の家での療養についてお伝えします。



Information

在宅医療の出前講座やっています!!

在宅医療のことをもっと知ってもらうために、柏市では、地域でのサロン活動や町会、学校などを訪問し出前講座を行っています。在宅医療って何？どんな人が、どうやって受けられるの？など、みなさんが気になることを詳しくお話しします。また、医師や看護師、理学療法士など患者さんの健康を見守る職種も地域に出向き、現場の声をお届けします！
出前講座をご希望される団体の代表者の方は、電話にてご連絡ください。

在宅医療の相談は 柏地域医療連携センターまで

このセンターを拠点に、柏市では医師会等と協力し在宅医療の推進を行っています。市民のみなさんの在宅医療や、病院の受診・診療などに関する相談もお受けしています。お気軽にお越し下さい。

柏市保健福祉部 地域医療推進課

電話：04-7197-1510

開館時間 8:30～17:15

柏市豊四季台1-1-118

休館日：土・日・祝日・年末年始

👉👉 フレイクタイム Special! 👉👉

「わがや」への感想をお寄せ頂き、ありがとうございます。第9号の感想をいつもより多めにをご紹介します。

とってもおもしろかった。
(10代男性)

息子が小学校からもらってきて初めて目にしました。将来の自分にも関係のあることだと思いつきました。地域でこのような活動をされている方がたくさんいらっしゃることを知りました。(30代女性)

多くの地域で支えあい活動ができるようになるとうれいですが、一人暮らしの方だけではなく、全老人在宅医療を受けられるようにしてほしいです。(50代女性)

在宅専門医が近くにいるか、どれだけいるか、柏市の状況を知りたいです。(60代女性)

「支えあい活動」とても心あたまる活動ですね。支えの心で気持ちよくお手伝いできたり、していただけたら、近所とのひだまりがあたたかくなるでしょうね!!
(60代男性)

地域でいろいろな支えあい活動が行われていることがわかり、困った時に頼れる場所があるという安心感につながります。ご近所カフェ子育て世代として利用してみたいと思いました。(30代女性)

これからも楽しみにしています。体は太っても心はやせてさみしいときもありました。もう少しで70歳。生きています。(60代女性)

わがやクイズ!

○の中にあてはまる文字は?(答えは紙面に隠れています)

『がん○○フォーラム2017』

ヒント 10月に行われる市民を対象としたがんに関するフォーラムです。

正解者の中から抽選で10名様に図書カード500円分をプレゼントします。下記の応募方法の必要事項をご記入のうえ、お送りください。* 当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

クイズ・質問箱の応募方法

①～⑦の必要事項をご記入のうえ郵送、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。

①氏名 ②住所 ③年齢 ④クイズの答え ⑤質問箱への質問 ⑥「わがや」の感想 ⑦「わがや」をどこで知りましたか? (例:新聞折込み等)【締切】平成29年9月29日(金) 必着

*クイズの回答のみ、質問箱への質問のみの応募も可能です。

応募先

柏市保健福祉部 地域医療推進課

FAX: 04-7197-1511

〒277-0845 柏市豊四季台1-1-118

E-mail: wagaya@city.kashiwa.chiba.jp

